**第３学年１組　国語科学習指導案**

１　**単元名・教材名**　言葉　ローマ字

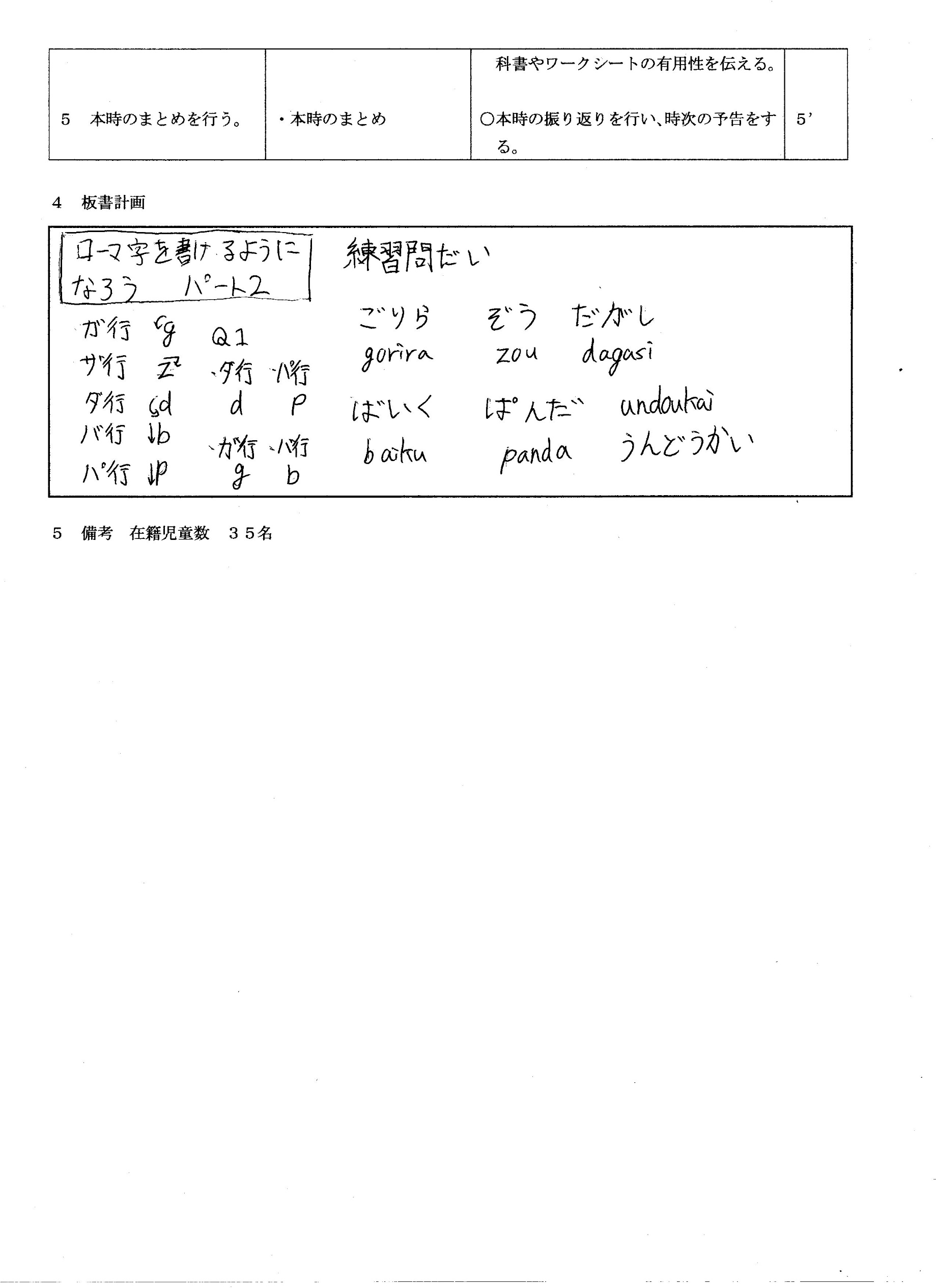
２　**本時の学習指導**　（本時２／２）

（１）目標

　　○簡単な単語について、ローマ字を書くことができる。

（２）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学習活動** | **学習内容** | **指導と評価の創意工夫** | **時間** |
| １　本時の学習活動をつかむ。  ローマ字を書けるようになろう　パート２  ２　濁音の表記を学ぶ。  ３　練習問題を行う。  ４　しりとりゲームを行う。  ５　本時のまとめを行う。 | ・本時の学習課題  ・アルファベットの読み方と書き順  ・フラッシュカードを用いて確認  ・濁音を取り入れた２～５文字程度の練習問題  ・隣の人とローマ字しりとりゲーム  ○ローマ字の学習に興味をもち、読んだり書いたりしようとしている。  →しりとりゲームに積極的に取り組み、他の児童のローマ字も確認しようとする。【関心・意欲・態度】  ○ローマ字表記の基本を理解し、簡単な単語を、読んだり書いたりしている。  　→しりとりゲームを行ったノートを確認し、基本的な単語に」関して正しいスペルが書けている。【言語活動】  　（机間指導による考察）（ノートによる考察）  このような姿が見られれば、「おおむね満足できる状態である」と判断できる。  ・本時のまとめ | ○前時の学習の振り返りを行い、本時では前時の応用を実施することを伝えることで、学習に意欲的に取り組むことができるようにする。  ○黒板で書き順を確認し、空書きをさせてからワークシートに記入させることで、正しい書き順を覚えることができるようにする。  ○濁音のひらがなを提示し、児童に黒板へアルファベットで書かせることで、確認できるようにする。  ○黒板に問題を書き出し、児童に取り組ませ、知識の定着を図り、活用できるようにする。  ○机間指導を行うことで、児童の進度を確認し、できているところと課題点を把握する。  ○お題を与え、隣の人としりとりを行わせることで、前時と本時の学習内容を楽しく実践的に活用し、知識の定着を図ることができるようにする。  ○お互いの単語をノートに記入させることで、効率的な学習活動を行わせることができる。  ○机間指導を行い、支援が必要な児童に教科書やワークシートの有用性を伝える。  ○本時の振り返りを行い、時次の予告をする。 | ５’  ５’  ５’  ５’  １５’  ５’ |

４　板書計画

５　備考　在籍児童数　３５名